

## 防災講演会開催

開催日時 令和元年 6 月 1 日（土曜日）午後 6 時から午後 7 時 45 分  
開催場所 高砂コミュニティーセンター 3 階ホール  
演 題 「大規模災害発生時の避難所生活について」  
講 師 秋富宗光氏

茅ヶ崎南地区まちぢから協議会防災部会と茅ヶ崎南地区防災リーダー協議会の共催で防災講演会が、防災リーダー、自治会員合わせて 41 名が出席して開催されました。

主催者を代表して茅ヶ崎南地区まちぢから協議会防災部会 黒田部会長が挨拶されました。続いて茅ヶ崎南地区まちぢから協議会 和田会長から講師 秋富宗光氏の紹介がされ、秋富氏は防災に関する知識を独学で習得され、その豊富な知識は行政にも多くの影響を与えておられます。また、公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワーク上級セーフティリーダー、地域防災インストラクター、茅ヶ崎市応急手当指導員、日赤救急救命指導員等に就任されご活躍されておられます。

ご趣味として溪流釣り、射撃を楽しまれていらっしゃいます。今年 10 月に実施いたします防災訓練の訓練項目の一つが避難所体験訓練と聞いておりますので、本日の演題は時宜にかなったものと思います、

秋富宗光氏から、配布資料に基づき講演が始まり、神奈川県が想定した過去の大規模地震が再び発生した場合の被害想定の説明がされたが、富士山と箱根山の大噴火も想定すべきとの指摘がされた、

茅ヶ崎市のマニュアルでは、大規模災害発生時に設置される地区防災拠点の役割は 1. 水 食料 救援物資等の配布 2. 被災状況等情報の把握提供 3. 家族の安否確認 4. 避難所となっており、市役所職員は避難所の運営まで手が回らないと思われ、地域住民が担うことが想定されます。

なお、避難所の収容人員は非常に少なく、在宅避難を余儀なくされることも想定されます。在宅避難の炊事に便利な湯せん調理用のポリ袋の紹介がありました。

防災マニュアルのうち、避難所開設から運営に関する部分のダイジェスト版を入手しましたので事務局に渡しますので皆さんご活用いただければと思います。

続いて、過去に発生した大規模地震災害の避難所で発生した諸問題について個別に詳細な解説がされ、我々が当事者となった場合の参考になりました。また、ゴミ捨て場、トイレについても説明がされ、トイレはビニール袋に入れる凝固剤がない場合、細かく切った新聞紙 猫のトイレ用砂で、代用できるとの説明がありました。

講演終了後、出席者から多数質問が寄せられ、避難所に関する問題意識の高さを再認識した講演会を終了いたしました。

以上

